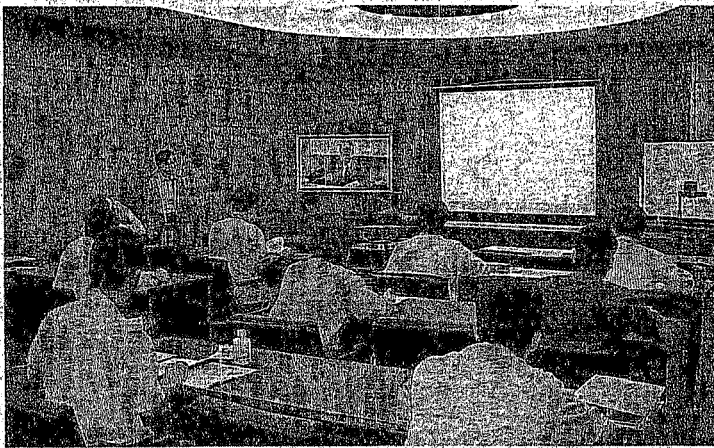


## 明大が飯田で人材育成プログラム



明治大のプログラムでも使用される飯伊地域地場産業振興センターのテレビ会議システムを使った講義風景

# 「地域ブランド 飯伊で確立を」

明治大(東京)が飯田で二十三日から、地域ブランド確立など地場産業活性化を目指して人材を育成するプログラムを開講する。文部科学省の「社会人の学び直し」ニーズ対応教育推進プログラムに採択された事業で、来年三月まで十八回の講義などを実施。二十三日は第一回を兼ねたシンポジウム「地域経済の未来を左右する!!南信州ブランド創造」を開く。

プログラムは、地場産く、地域活性化に関心にも参加を呼び掛ける。業に携わる人だけではない。ある地元の主婦や高齢者

地域ブランドの意義や経営戦略を学び、実際に事業立案にも挑戦。大友純(明治大商学部教授)ら明治大スタッフが講師を務め、テレビ会議システムを使った授業のほか講師陣が計二回、飯田を訪れて直接指導する。

二十三日のシンポジウムは、地域ブランド確立の成功例として「桔梗信玄餅(きぎよつしんげんもち)」で知られる桔梗屋(山梨県笛吹市)の中丸真治社長が基調講演。その後、大友教授、牧野光朗(飯田市長)、宮島八東(飯田商工会議所会頭)、中丸社長、菊池公雄

## 来春まで 初回23日はシンポ

信濃毎日新聞社論説副主幹らが、飯田の地域ブランドについて討論する。明治大は三月、飯田市と人材育成などで連携する協定を締結。また、飯田下伊那地方では「市田柿」「南信州牛」など、ブランド確立に向けた動きが活発化している。こうした中で同プログラムの実施が決まった。

シンポジウムや主要講義の会場は、飯田市中郷別府の飯伊地域地場産業振興センター。都内の明治大・駿河台キャンパスでの講義も二回ある。同センターの吉川芳夫事務局長は「この地域が生き残るためには地域ブランド構築が不可欠。プログラムを通じ、新たなリーダーが出てきてくれれば」と期待している。

シンポジウム(定員百人)、講義(同三十人)とも無料で、二十日申し込み締め切り。シンポは当日午後二時開催。問い合わせは明治大の事務局(☎03・3296・4543)か飯伊地域地場産業振興センター(☎02・65・52・1613)へ。